

## 令和3年度 過年度卒業生（歯学部）へのアンケート調査結果について

### 1. 趣旨

岩手医科大学では、本学における教育の質保証を目的として、平成30年に「学習成果の評価検証方針及び指標」を定め、これによって3つのポリシーに基づいた教育が実施されているかを検証することとしている。

ここでは、指標の一つである「卒業アンケート」について、卒後5年、10年の学生（薬学部は5年のみ）を対象に実施したアンケート調査結果について報告する。

### 2. 概要

調査対象 歯学部卒業生

第42期生【平成24年3月卒業】 53名（卒後10年目）

第47期生【平成29年3月卒業】 47名（卒後5年目）

調査期間 令和3年8月6日（金）～10月24日（日）

実施方法 インターネット（Google Form）を利用したWebアンケート

質問内容 ① 氏名、性別、年齢、お住まいの地方、卒業年度（〇期生）  
② 現在の状況、勤労状況、勤務形態  
③ 臨床研修を受けた都道府県、専門研修（後期研修）の選択科または選択予定科※医学部のみ  
④ 専門医の取得状況 ※医学部のみ  
⑤ 学位の取得状況、満足度 ※医学部のみ  
⑥ 学位授与方針に対する卒業時の自己評価  
⑦ 岩手医科大学での学びのキャリア選択への貢献度  
⑧ 岩手医科大学のカリキュラムに対する満足度  
⑨ 岩手医科大学での学びの地域医療への貢献度  
⑩ 岩手医科大学への満足度  
⑪ その他

### 3. 結果

【回収率】

歯学部 第42期生 19.6%（10/51人（53人）） 第47期生 13.4%（6/44人（47人））

詳細は別紙の通り。

### 4. 総括

・設問2 勤労状況について、42、47期生のいずれも大学病院で働く人数が最多であった。

・設問4 学修成果の達成では、総じて42期生よりも47期生の方が達成度は高い。一方、「国際貢献への資質」は、42期生、47期生のいずれも0%であり、英語力等の不足がうかがえる。

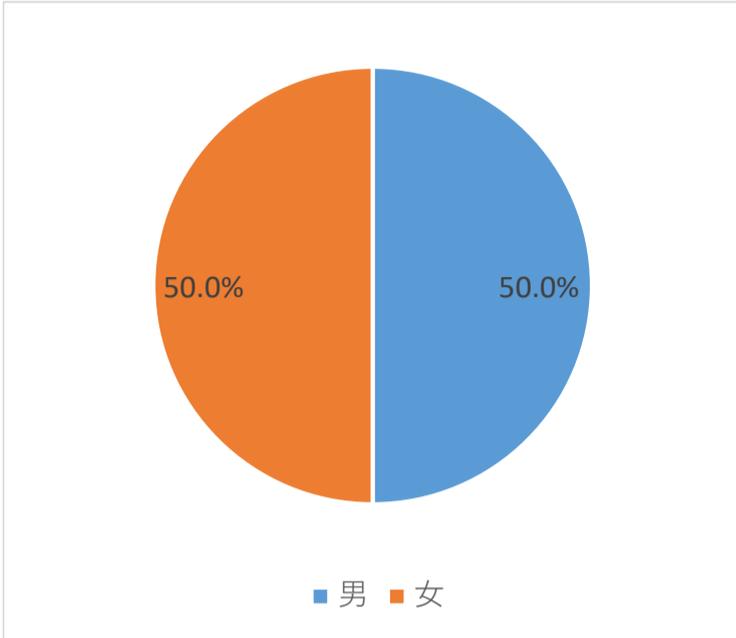
・設問5 カリキュラムへの満足度について、42期生、47期生のいずれも「満足している」「ある程度満足している」が合計で80%を超えており、評価が高い。ただし、42期生には「あまり満足していない」卒業生も存在している。一方で、地域

医療への貢献度は比較的高く評価されており、本学の使命が実行されていることが分かる。

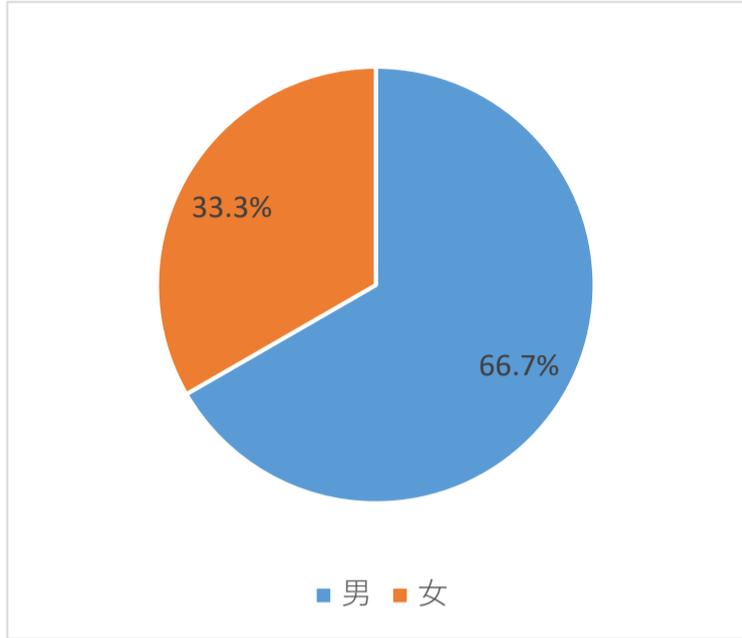
・設問 7 本学を卒業してよかったかという問いに対して、42 期生、47 期生のいずれも「良かった」「どちらかといえば良かった」が 80%程度を占めており、満足度は高い。

## 歯学部

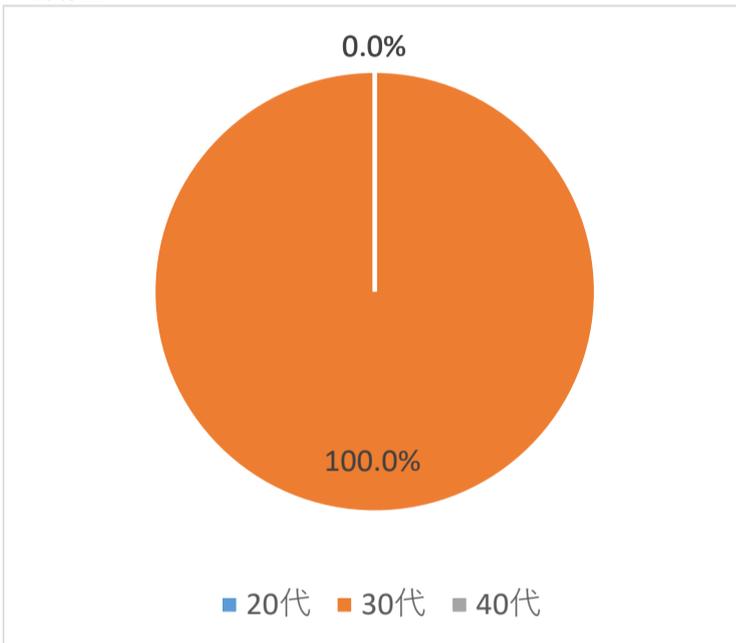
性別  
42期生



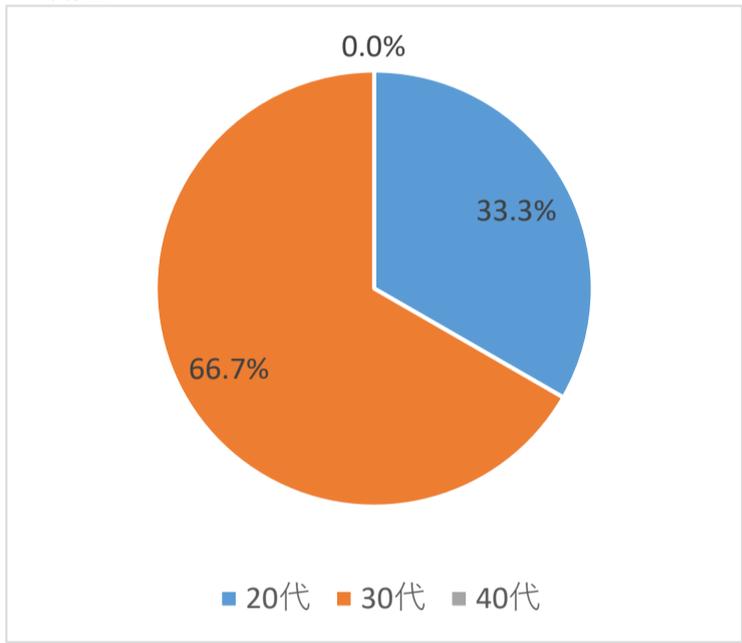
47期生



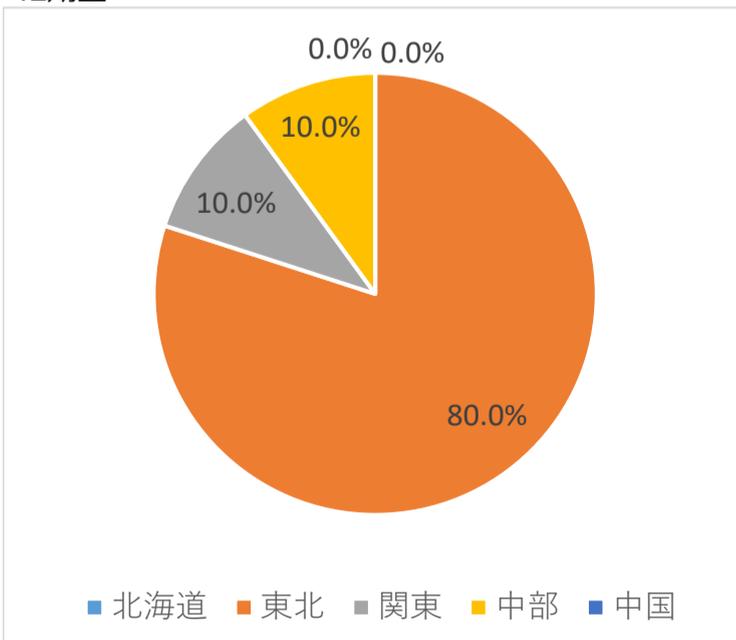
年齢  
42期生



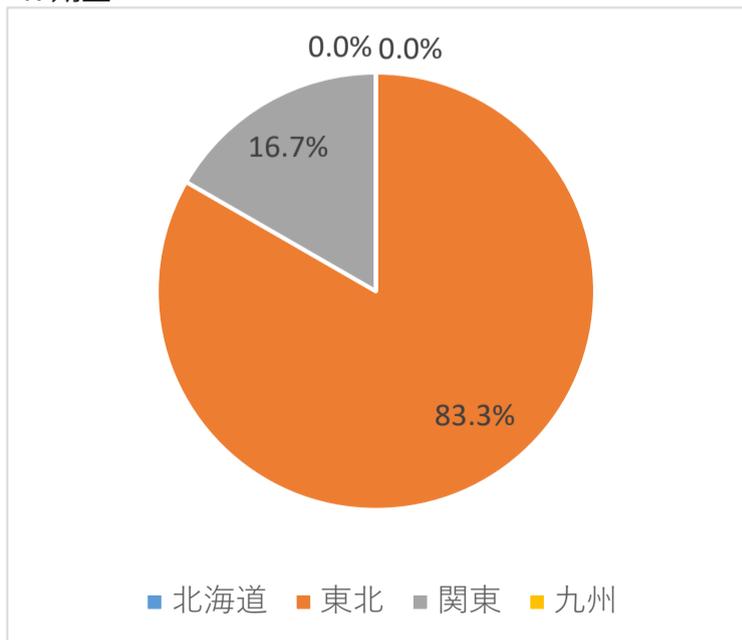
47期生



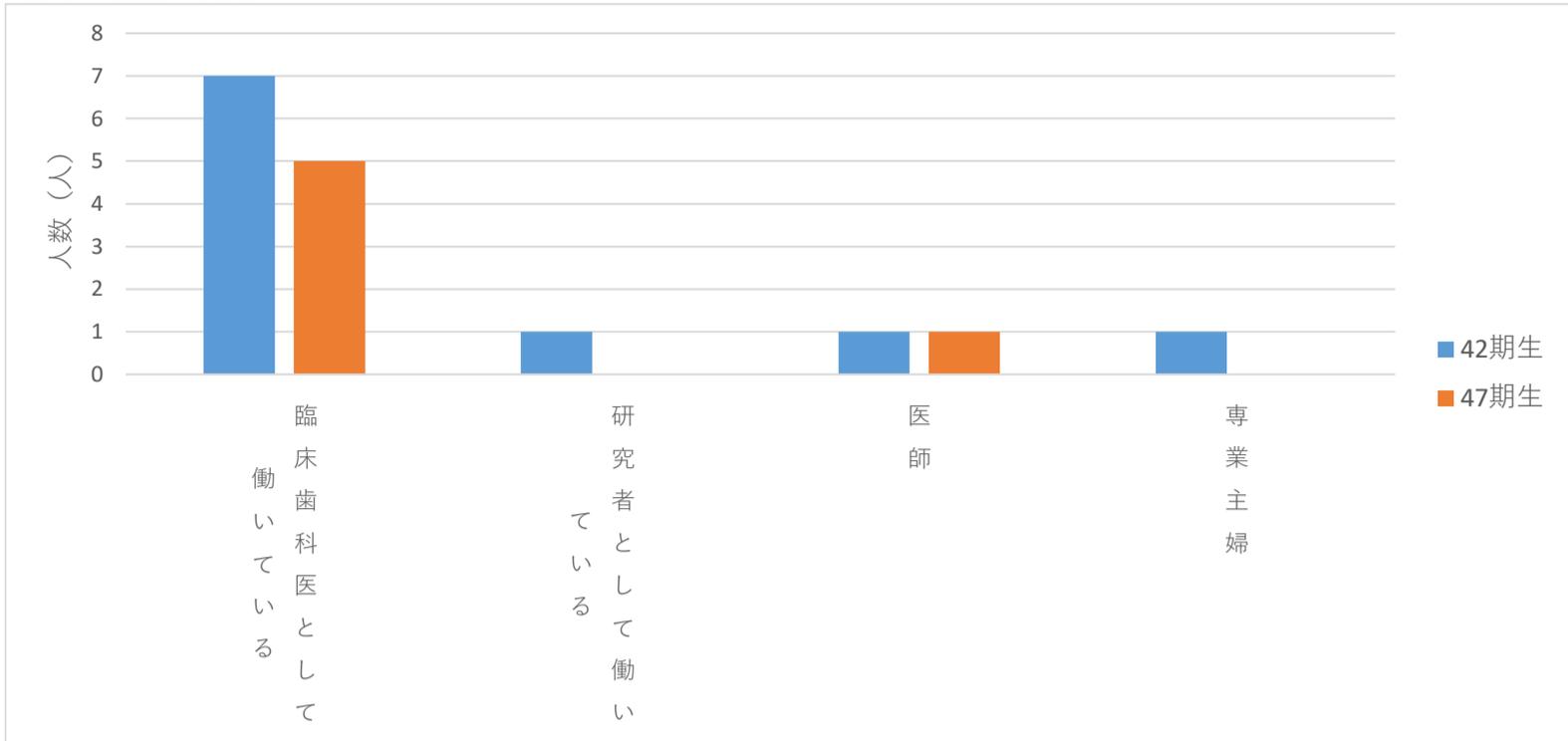
住まい  
42期生



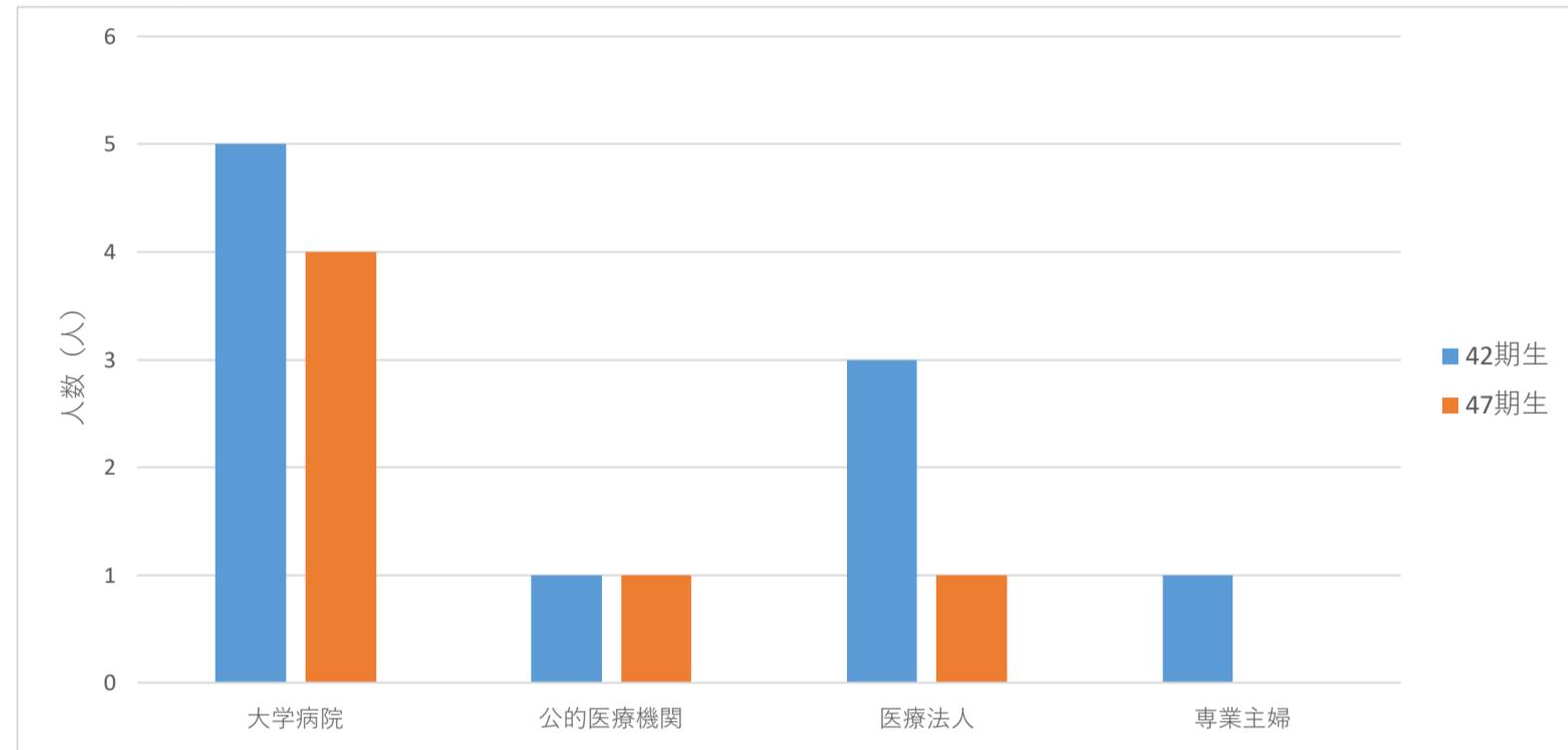
47期生



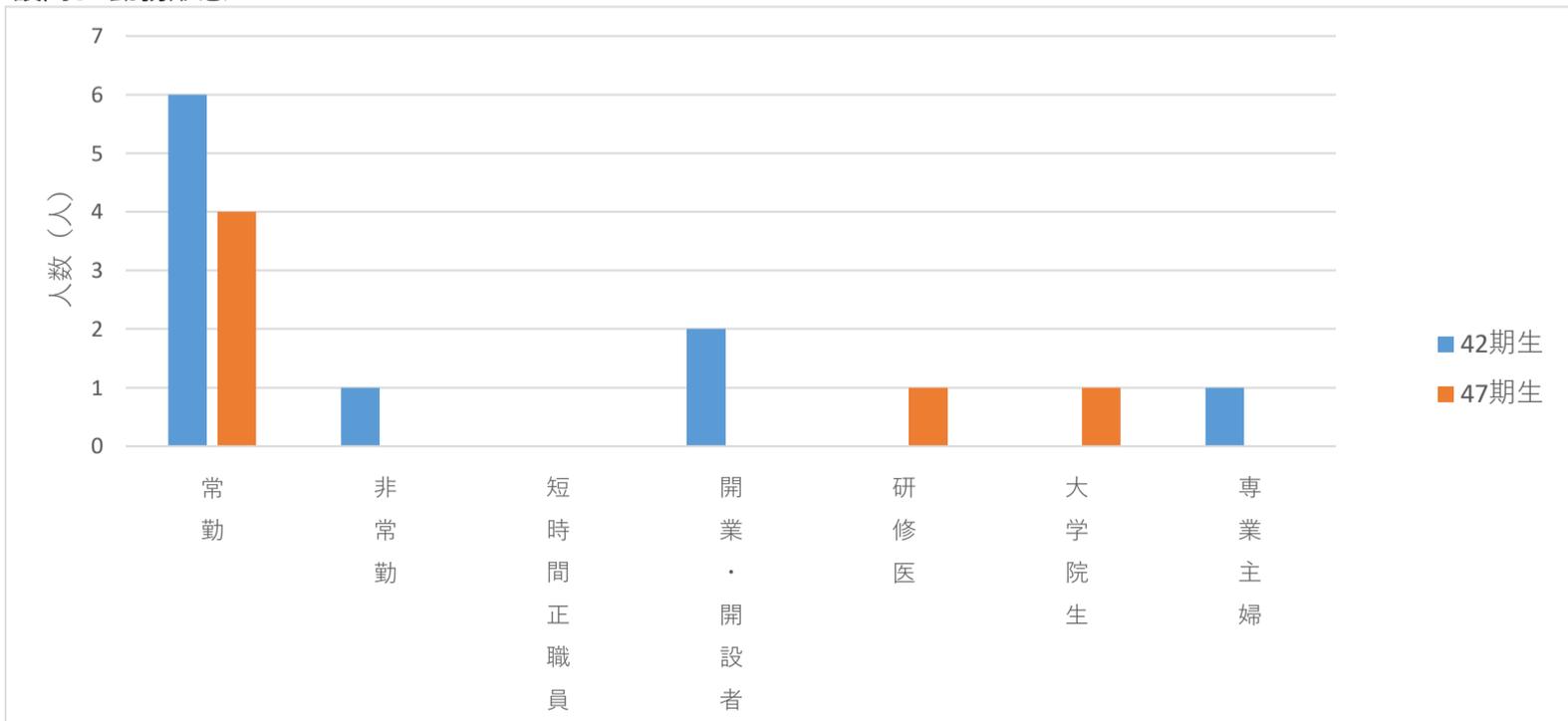
設問1 現在の状況



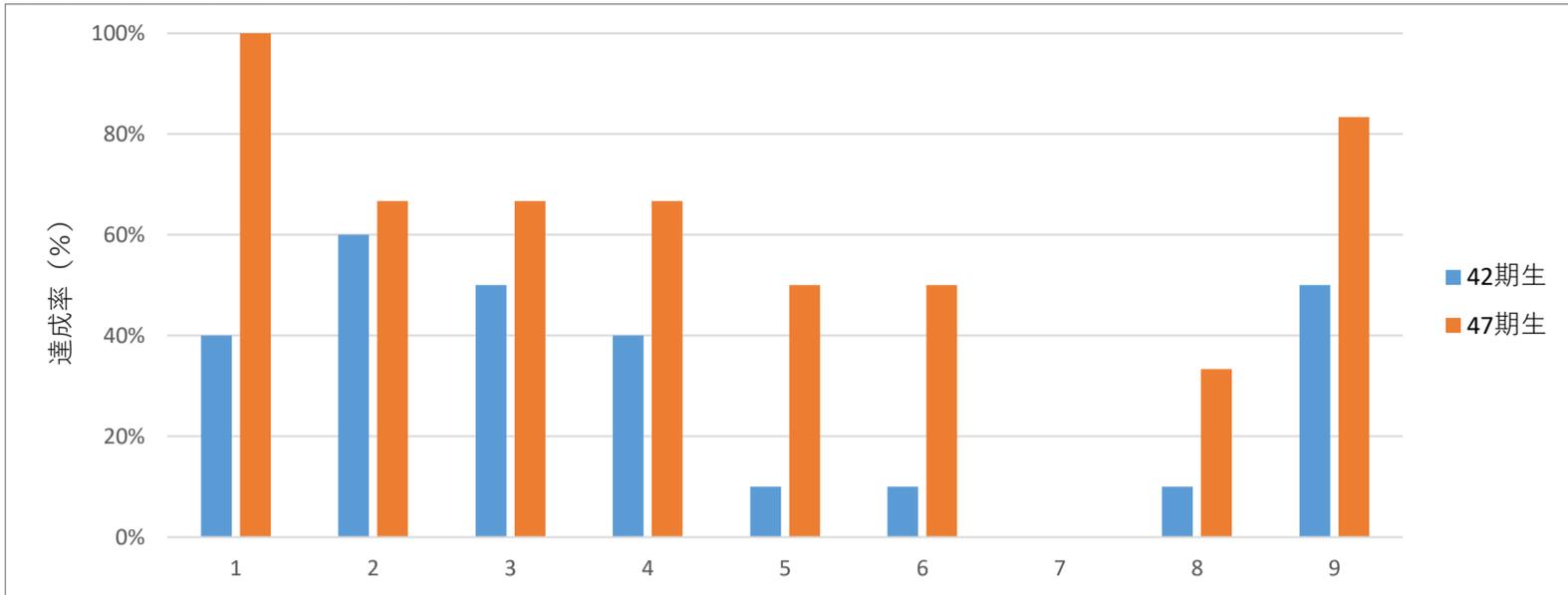
設問2 勤労状況



設問3 勤務形態



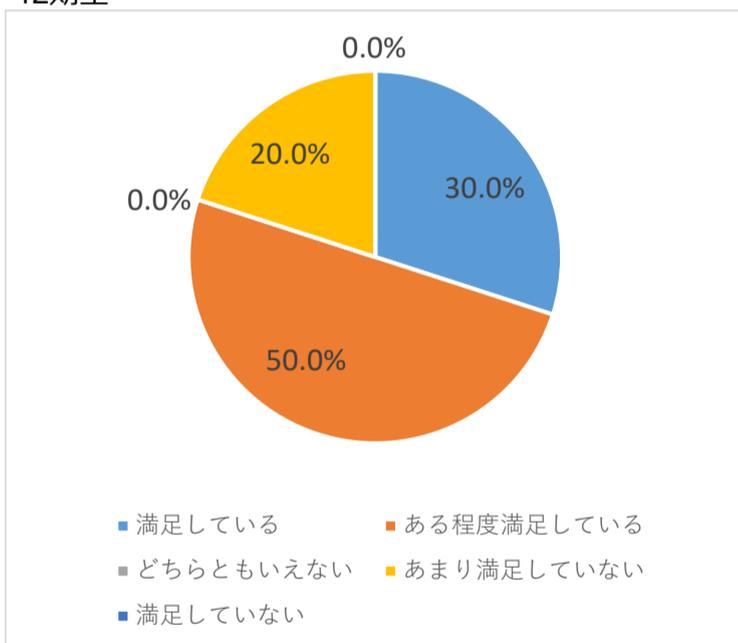
#### 設問4 学修成果の達成について



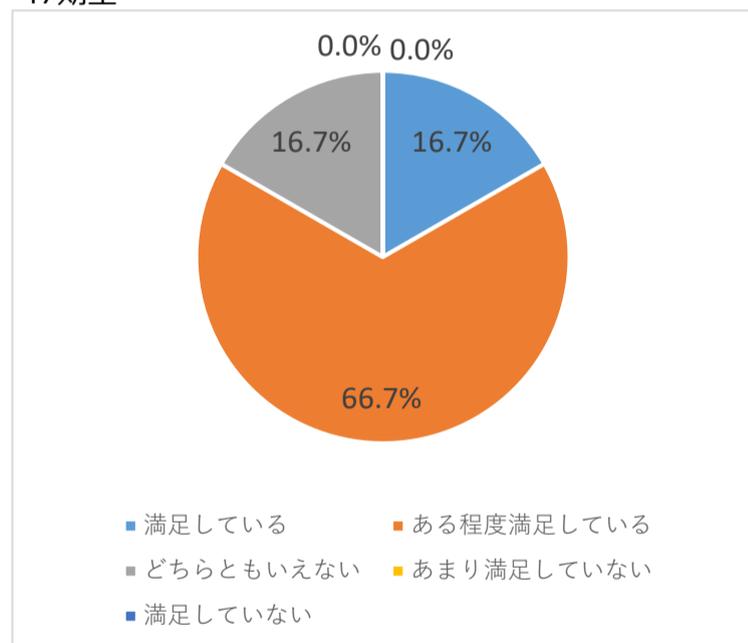
1. 歯科医師として患者や地域住民の健康と生命を守るという責務を理解し、高度な専門性と豊かな人間性と倫理観を有すること。(プロフェッショナリズム)
2. 患者・家族に歯科医療の内容をわかりやすく伝え、彼らの気持ちに配慮しながら良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力を備えること。(コミュニケーション能力)
3. 医療チームの一員として、相手の立場を尊重しお互いの協力のもとに医療を円滑に実践すること。(チーム医療の実践能力)
4. 科学的な根拠をもとに統合された知識、技能、態度を有し、全身的、心理的、社会的状況に対応可能な総合的な診療を実践すること。(包括的歯科医療の実践能力)
5. 地域の保健、医療、福祉、介護の現状や問題点を把握して、地域医療の向上に取り組む態度・技能が備わっていること。(地域保健・医療の実践能力)
6. 歯科医師として求められる基本的診療技術を高い水準で修得していること。(高水準の診療能力)
7. 国際的な保健・医療活動に参加するための態度と基本的な語学能力を有すること。(国際貢献への資質)
8. 歯科医学や医療の発展に寄与する研究を遂行するために必要な知識と技能を有すること。(研究マインドの保持)
9. 生涯にわたり歯科医療に対する自己研鑽を続ける態度が備わっていること。(生涯学習の実践)

#### 設問5 カリキュラム満足度

42期生

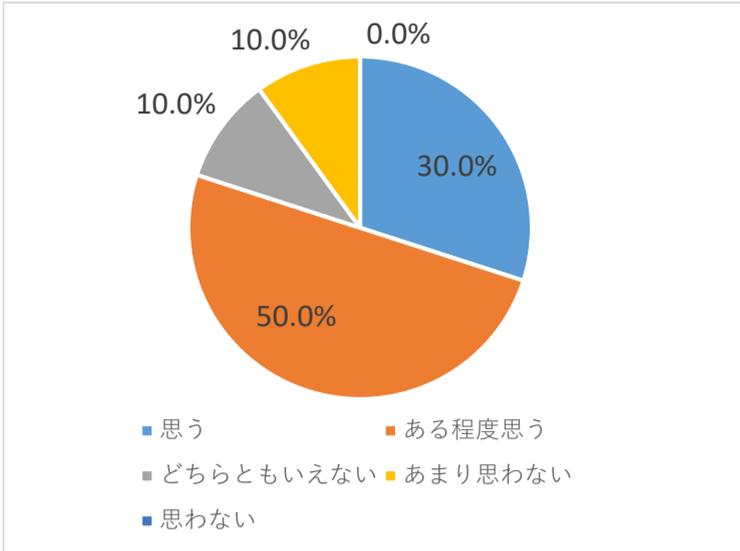


47期生

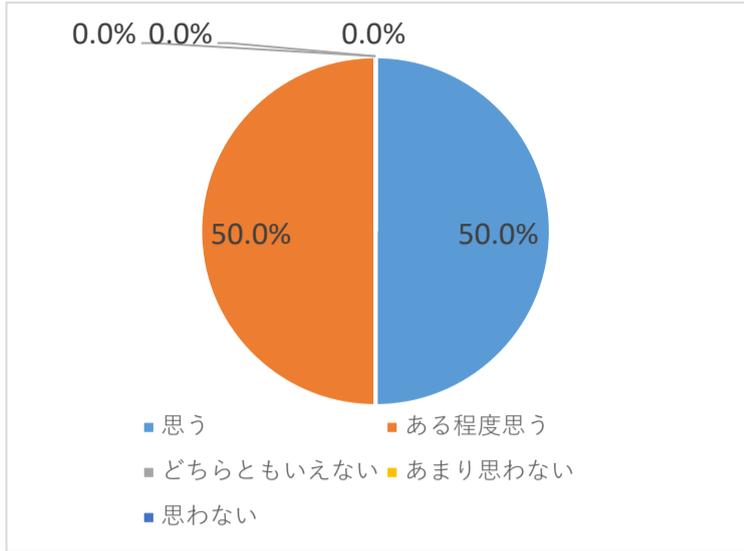


設問6 岩手医科大学で学んだことは地域医療への貢献に寄与していると思いますか。

42期生

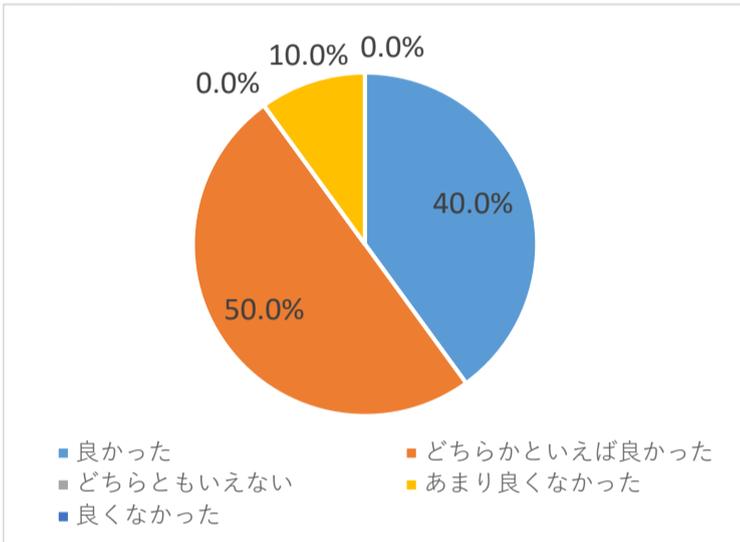


47期生

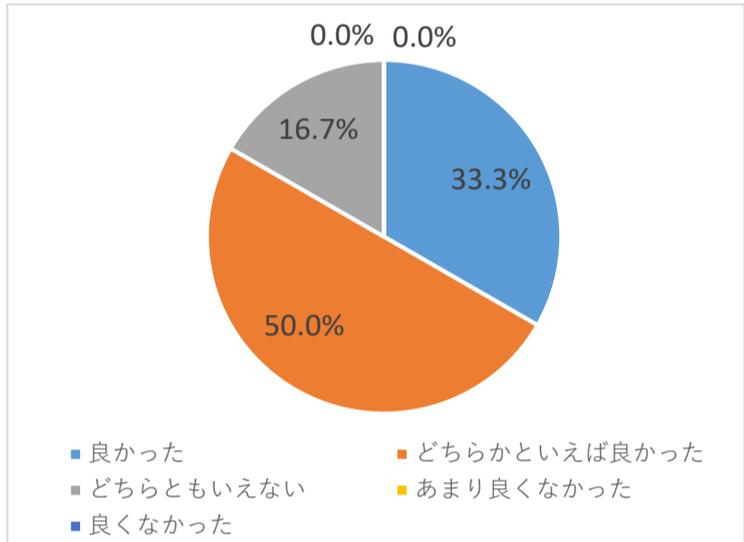


設問7 岩手医科大学を卒業して良かったですか。

42期生



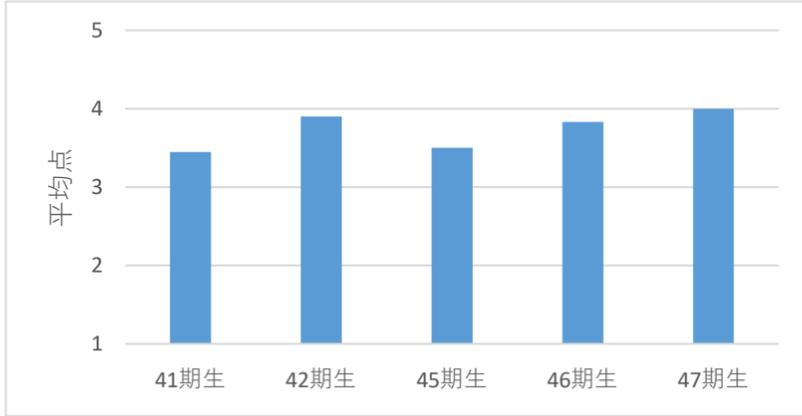
47期生



## 過去3カ年の経年比較（歯学部）

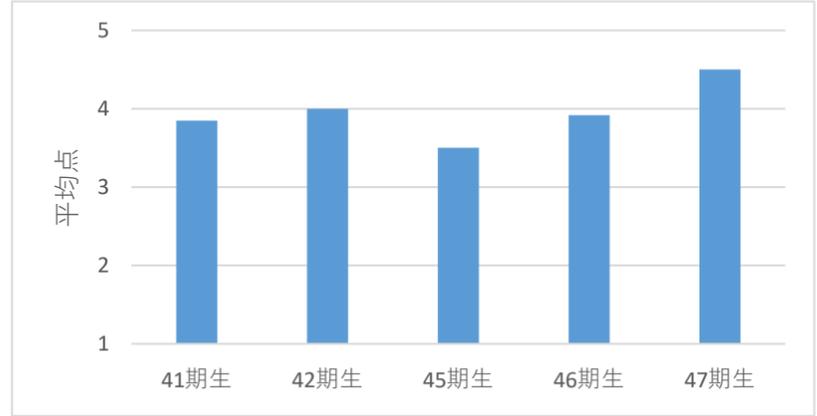
### カリキュラムへの満足度

5段階評価（評価5：高評価 評価1：低評価）

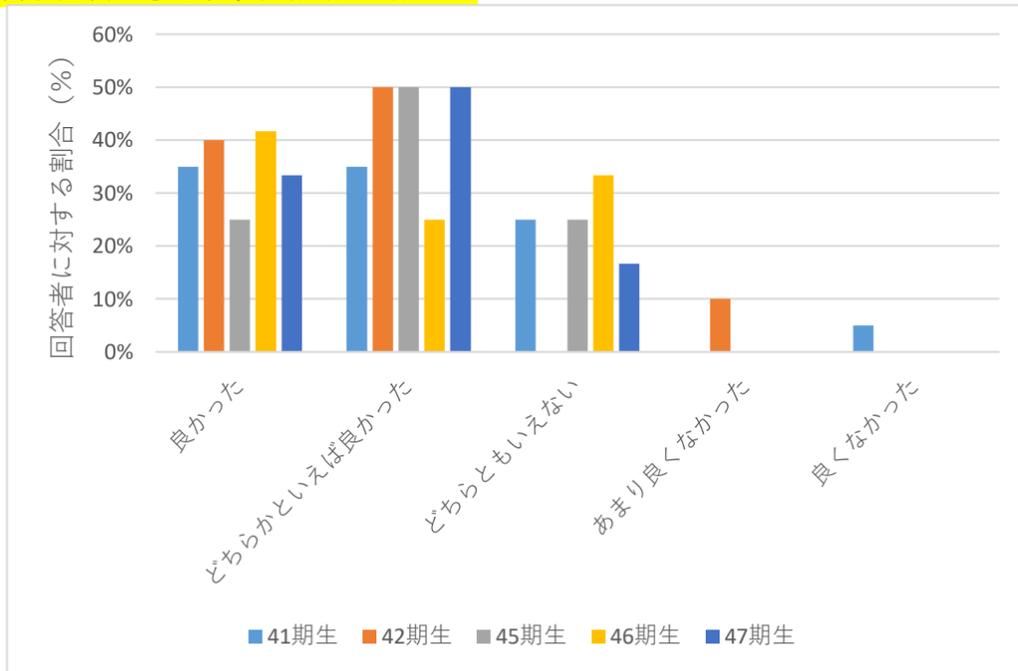


### 地域医療への貢献度

5段階評価（評価5：高評価 評価1：低評価）



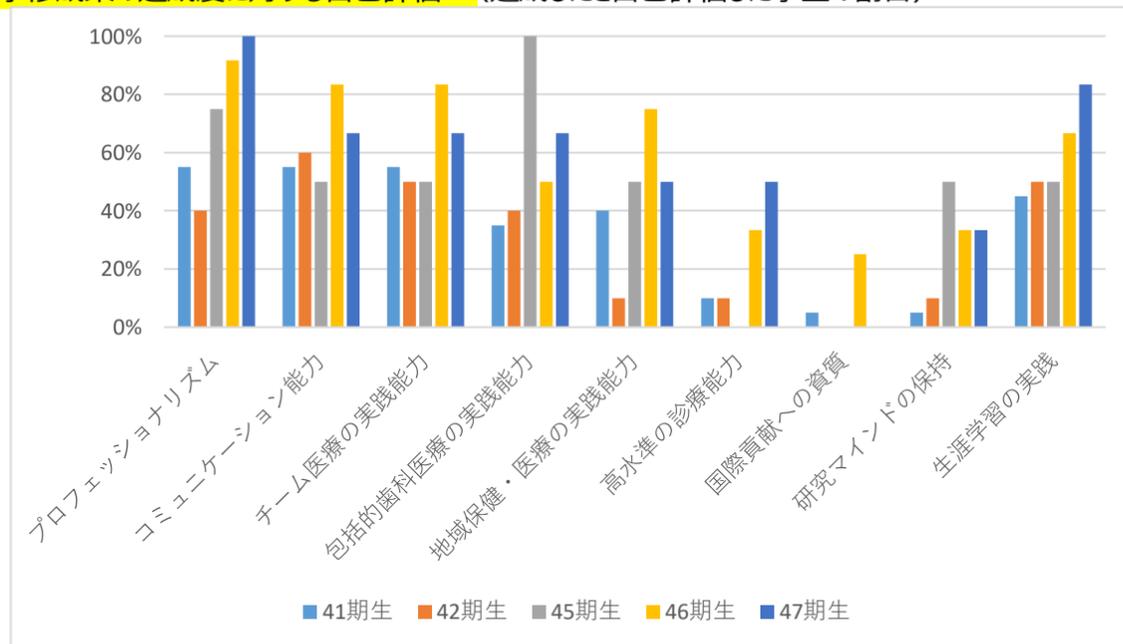
### 岩手医科大学を卒業して良かったか。



・カリキュラムへの満足度、地域医療への貢献度は、概ね肯定的な評価となっている。

・実施時期に寄らず、岩手医科大学を卒業したことを肯定的に受け止めている卒業生が多数派を占める。

### 学修成果の達成度に対する自己評価（達成したと自己評価した学生の割合）



・学修成果の達成度について、「プロフェッショナリズム」「コミュニケーション能力」「チーム医療の実践能力」「生涯学習の実践」などは達成度が比較的高い。また、46、47期生では他の項目についても比較的高い評価となっている。

・卒業時期に寄らず、「国際貢献への資質」に対する自己評価が低い。英語力の不足が影響している可能性がある。また、「研究マインド」「高水準の診療能力」なども低い傾向にある。